

フコキサンチン量産へ

健康食品原料製造 ファイトロックス うるまに新工場



健康食品原材料製造のファイトロックス（うるま市、星野厚社長）は沖縄振興開発金融公庫から資本性ローン3億円の融資を受け、昆布などの褐藻類に含まれ、抗肥満作用などの効果があるフコキサンチンを生産する大型工場をうるま市の国際物流産業集積地域に設置する。同社は独自の製法により、ミドリムシに代表される微細藻類（ケイ藻）から大量のフコキサンチンの生産に成功して

うるま市に大型工場を設置するファイトロックスの星野厚社長（右から2人目）と伊藤史紘取締役（右端）
11月7日、沖縄振興開発金融公庫

り、今後、高付加価値の健康食品原料として全国のメーカーに売り込む。

ファイトロックス社によると、従来の製法では、約100キの褐藻類からわずか1〜3キ程度のフコキサンチンしか生産できず、供給量も不安定だった。同社は独自の製法により、褐藻類と比べて約150倍の含有量を持つ微細藻類の大量培養に成功し、高純度のフコキサンチンの生産と安定供給の技術を確立した。この技術は特許申請中で、従来の製法より400分の1のコストで生産できる。大型プラントは今年8月

からの稼働を予定しており、昆布3キ分に相当する月40キのフコキサンチンを生産する。生産規模は現在の小規模プラントと比較して約100倍。フコキサンチンは抗酸化作用や抗糖

尿病作用などの効果も確認されており、通常はサプリメントとして利用されている。ファイトロックスは、

水に溶ける性質のフコキサンチンも開発した。

7日、沖縄公庫で会見した星野社長は「現在、大手医薬品メーカーからもオファーが来ている。われわれが開発したフコキサンチンは水溶性で、従来のものより加工しやすくなっている。5年後には売上高50億円を目指す」と述べた。

資本性ローンで 公庫から3億円

フアイトロックス

沖縄振興開発金融公庫（譜久山富則理事長）は7日、バイオテクノロジーの研究や開発、生産を手掛ける食料品製造業のフアイトロックス（うるま市、星野厚代表取締役）に資本性ローンで3億円を融資したと発表した。融資は3月24日付。

同社は抗肥満作用、抗糖尿病作用などの機能性効果が認められる成分「フコキサンチ

ン」を生産する。従来の昆布やわかめなど褐藻類では10



「フコキサンチン」の分子模型を持つフアイトロックスの星野厚代表取締役（右から2番目）ら
17日、沖縄振興開発金融公庫

0^{ピコ}から1^{ナノ}3^{ピコ}しかフコキサンチンを生産できないが、約150倍の含有量を持つ微細藻類の量産とフコキサンチンの生産に成功している。融資は大型プラント設備導入に充てる。

星野代表は「フロントライナー」として、大量生産・安定供給できるように務める。5年後に50億円の売り上げが目標」と話した。

資本性ローンは、創業や新規事業を始める中小企業へ財務体質の強化を図るため、無担保無保証などの条件で融資する制度。